

宝物はすぐそばに

校内研通信

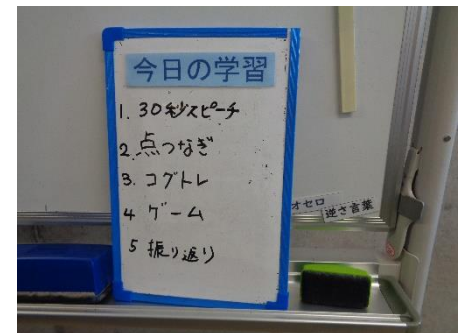
第6号

R7.7.16

発行者:校内研担当 仲村智

あなたのもとでは素直な私でいられます・・・

7月16日(水)3校時、畑中さゆり先生が通級教室での自立活動の授業を公開しました。恥ずかしながら私自身、自立活動を授業参観する機会が初めてで、個人的に大変勉強になる時間を過ごすことができました。本時は「学習に対する苦手意識を緩和し意欲的になる」ことをねらいにして、主に聞く力をきたえる活動を取り入れていました。まず導入での30秒スピーチ。きちんと自分で考えてそれを短く表現するというレベルの高いことをさらりとやってのける様子に、日頃の先生の継続的な実践の成果を読み取ることができました。今日の学習の確認や、その他掲示物等をもて、生徒が今何をしたら良いか迷ったときの手助けとなる工夫があちこちにみられ、学級・教室経営の参考にもなります。そのなかで一番良かったと思うところが、さゆり先生の温かで寛容な雰囲気の中、正誤の確認及びモチベーションを喚起する声かけ・支援があり、生徒は最後まで安心して意欲的に課題に取り組んでいたことです😊 さゆり先生素敵な授業をありがとうございました。



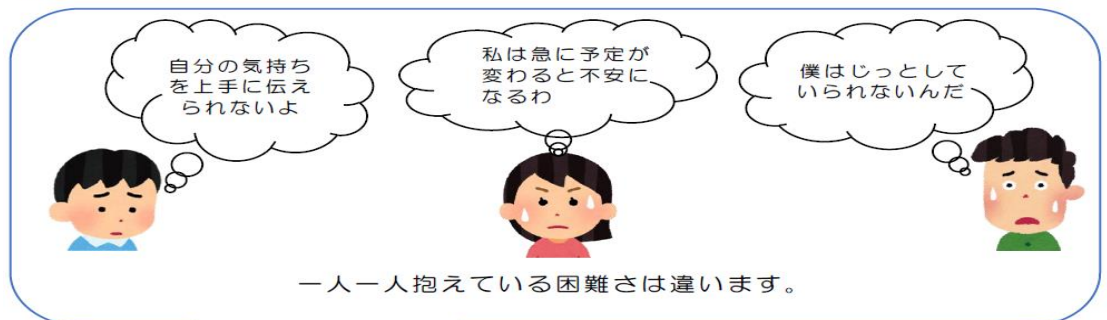
「自立活動」は特別支援教室及び通級の生徒が対象ですが、通常の学級にも特別な支援を必要としている「困っている子」が確実にいます。従って、自立活動の視点をもって指導にあたるという点は、すべての教職員が意識し、その理解を深めることが大切です。

一緒に学ぼう!
自立活動



自立活動はなぜ必要なの？

障害のある子どもたちは、障害による様々な困難を抱えています。自立活動は、その困難さを、得意なことを生かしながら克服し、子どもたちが生活しやすくなる、学習しやすくなることを目的としています。そのため、特別支援教育において自立活動はとても重要です。



子どもたち一人一人、抱えている困難さは違うので、自立活動の指導内容も一人一人の困難さに合わせたオーダーメイドの内容になります。そのため目標や手だても一人一人違ってきます。

つまり…

100人いれば
100通りの「自立活動」があります